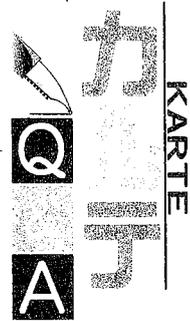


15年前、軽い蓄膿症と診断。黄色い鼻汁が喉に落ちます。その後、副鼻腔の通りをよくする手術を受け、定期的な内視鏡検査で術後は良好。薬はオロパタジンなどを飲んでいますが、一番困っている後鼻漏は改善しません。良い方法はありませんか。(78歳、男性)

## 後鼻漏



星野哲朗医師

鼻汁成分の大部分は水分であり、吸い込んだ空気の加湿に重要です。感染防御の役割も担っています。鼻汁は1日に約2リットル

## 上咽頭の炎症にも注意して

も影響します。「慢性副鼻腔炎」や「アレルギー性鼻炎」は後鼻漏を起こす最も頻度の高い病です。ただ術後の経過が良好な上、抗アレルギー薬のオロパタジンを内服しているため、他の原因が疑われます。

定期的な内視鏡による診察を「上咽頭擦過治療」により症状の改善が期待できます。

「後鼻漏」以外にも自覚している症状があれば、ぜひ主治医に相談してみてください。原因解明と治療法選択の一助になる可能性があります。

(兵庫東百鼻咽喉科医会、星野哲朗 西宮市、星野耳鼻咽喉科院長)

◇第1、3、4日曜に掲載します。

分泌されていますが、普段は違和感なく飲み込んでいます。しかし、分泌量が増えたり粘性が増したりした場合、喉に鼻汁が流れ込む不快感や咳、たんなどの症状が現れます。これを「後鼻漏」といいます。不快感はとて強く、ひどい時は食事や睡眠など基本的な日常生活に

受ける中で、医師から「上咽頭」について何か指摘があったでしょうか？ 鼻の穴の奥かつ、喉の上部に位置する上咽頭にはリンパ組織が豊富に存在しています。鼻呼吸の通り道としての役割だけでなく、免疫器官として常にウイルスや細菌などの外敵と戦っています。

す。その他、咽喉頭酸逆流症では上咽頭まで胃酸が逆流し、後鼻漏だけでなく咳、声がれ、耳の痛みにつながります。胃酸の逆流は加齢に伴い増加しますが、いびきとも強く関連しています。いびきを自覚または指摘されたことはありませんか？